

「優勝旗持ち帰る」



青山祐治副知事(前列右から2人目)らと記念撮影する八学光星ナイン=25日、青森県庁

光星、県庁訪れ甲子園へ抱負

第100回全国高校野球選手権記念大会に青森県代表として出場する八学光星硬式野球部が25日、県庁を訪問し、ナインたちが青山祐治副知事や県教委の和嶋延寿教育長らに甲子園での健闘を誓った。

この日は選手20人と、学校関係者4人が訪問。2年ぶりの甲子園出場を果たし、仲井宗基監督は「レベルが上がっている青森大会を勝てた自信を持って、大舞台で戦いたい」とあいさつ。長南佳洋主将は「甲子園では強打の光星と言われるように打っていききたい。東北初の優勝旗を持って帰っている」と意気込んだ。

青山副知事は「チーム一丸となって、厳しい練習の成果を存分に発揮してほしい」とそれぞれ激励した。

(向中野一樹)